



B€theONE News

“かけがえのない存在”たれ!

B€the ONE 羽衣国際大学
HAGOROMO University of International Studies

現代社会学部 現代社会学科
放送・メディア映像学科
人間生活学部 人間生活学科
食物栄養学科

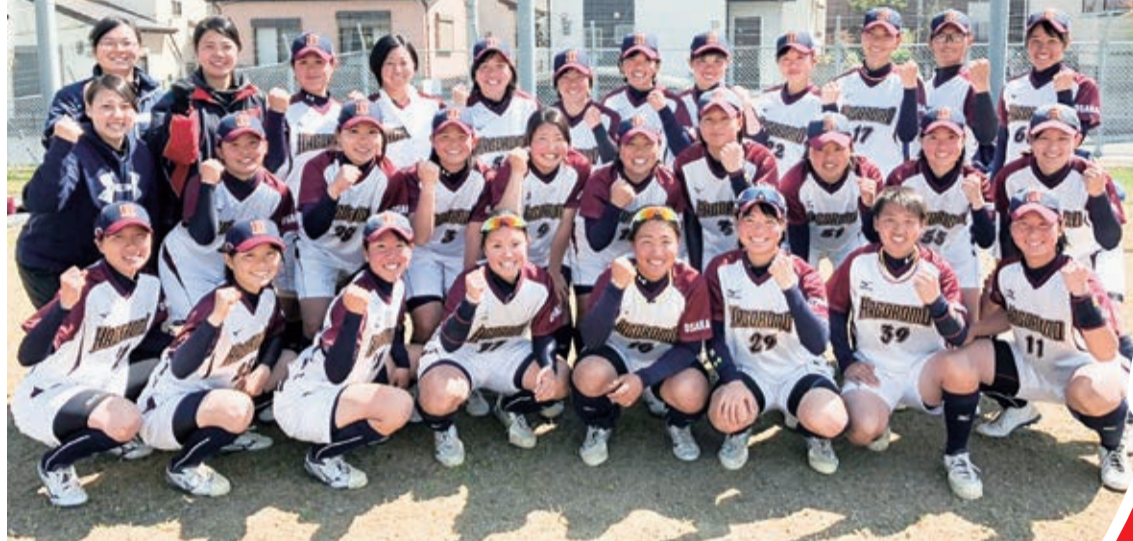
〒592-8344 大阪府堺市西区浜寺南町1-89-1
TEL 072-265-7000 FAX 072-265-7005
http://www.hagoromo.ac.jp/

はごろもこくさい 検索

勝利を自信に
悔しさを糧に

Dream is infinite!

~夢は無限大~



ソフトボール

関西学生女子春季リーグ

2位

3部

2部上位ならず
1部の壁大きく

前年秋季リーグで2部6位となり、2部残留を決めていた女子ソフトボール部。1つでも上位で再残留を目指して春季リーグに臨んだ。

1次予選リーグは初戦で星を落としたが、2、3戦目を連勝した。2勝1敗と勝ち越したが、同勝敗で3チームが並び、失点差により、羽衣国際大は2次リーグでの3部降格となってしまう。

その2次部別リーグでは1戦目を15・0で3回コールド勝ち。3戦目に完封負けを喫したが、3勝1敗の成績で、3部2位と踏ん張った。

総括すると、1点の壁が大きく立ち上がったリーグ戦となった。2部リーグで十分に戦える戦力になったものの、精神的な部分での弱さがこぞという場面で出てしまい、流れを優勢

ベストプレー賞



上手 晶葉
食物栄養学科1年

「ベストプレー賞に選ばれたことを大変うれしく思います。この賞にふさわしい選手になれるように練習に励み、チームに貢献できるように頑張ります」



4月、女子ソフトボール部は15人の新入部員を迎えた。ようやく1年生から4年生までが揃ったばかりのチームであり、これから選手たちもチームも著しい成長がみられることだろう。秋季リーグを目指し、5、8月の間に大きな成長を遂げてくれると信じている。

秋季リーグを目指し、成長が期待できるチーム

今リーグでの通算成績は5勝2敗。この2敗がいずれも残留、そして西日本インカレに必要な勝利であったが敗戦となり、2つの目標において、今季は達成ならずという結果に終わった。



いつもお世話になっている日本女子ソフトボールリーグ1部のSGホールディングスを応援。

◆春季関西学生リーグ
▽女子2部(1次予選リーグ)
羽衣国際大 4・9 京都産業大
0・20 1 兵庫教育大
0・10 0 大阪国際大
▽女子3部(2次部別リーグ)
京都女子・
羽衣国際大 15・0 奈良学園・
大阪経法大
0・9 0 京都先端大
0・0 2 びわこ成蹊大
0・14 0 兵庫教育大

大会成績

に戦う最後の秋季リーグでは4年間で成長した姿を、応援して下さる方々に、存分に見せてほしい。



今年の
New
Face



齊藤 兆星
(放送)



後藤 美紀
(スポーツ)



黒川 未愛
(スポーツ)



上手 晶葉
(食物)



岩崎 桃花
(スポーツ)



井上 由美
(スポーツ)



東 優莉
(食物)

部活動と学業を両立し、たくさんの人から応援して頂けるように頑張ります!



若松 小夏
(食クリエイト)



柚原 菜々穂
(スポーツ)



三好 芽衣
(食クリエイト)



春駒 真実
(観光)



八黄地 麻衣
(スポーツ)



永田 菜々
(食物)



中世古 月
(スポーツ)



田口 ひかる
(スポーツ)



男子4部決勝の松本・谷（手前）ペア

男子単複とも実力発揮 快勝続きで昇格決める

女子2部、男子4部で迎えた春季リーグ戦。3部以上と4部以下では試合形式が異なり、3部以上は1次



男女で上位リーグ進出を目指すバドミントンクラブ

バドミントンの関西学生春季リーグ戦は4〜5月に行われ、羽衣国際大学バドミントンクラブは女子が2部、男子が4部に参戦した。男子は4部Bリーグで首位となり、1位決定戦も勝利して4部優勝を果たした。さらに入替戦も3・0で快勝。3部昇格を決めた。秋季リーグ戦はワンランク上のカテゴリーで戦う。女子は2部7位。入替戦も敗退し、秋季は3部に出場する。

バドミントン 関西学生春季リーグ戦 男子も連続で昇格！ 4部制覇して3部へ

リーグの順位を元に上位・下位リーグを行う。4部はA・Bリーグに分かれて開幕し、それぞれの1位校同士が4部決勝を戦う。男子は初戦から好調で、4部1敗でまずはBリーグ1位となった。4部決勝はA1位の大阪府大と対戦し、3・1で退けた。3部8位の滋賀大学経済学部との入替戦でも各選手が実力を発揮した。第1シングルス

ち。続く第1ダブルスの松本多朗(同2年)・谷龍則(人間生活学科1年)組も2・0で快勝し、危なげなく3部昇格を決めた。これで、昨年春リーグで3部、秋リーグで2部へひと足先に昇格していた女子に続いて、男子も上位リーグ(1〜3部)へ進出することになった。

この結果を後日、吉村宗隆学長に報告。「良い結果、悔しい結果はあると思いま

男子は単B5回戦が最高



上江洲(左)・向井組

関西学生選手権 女子ダブルスBで健闘

惜敗... 上位進出ならず 大阪総合選手権



女子2部で健闘する日野・安次富(手前)ペア

バドミントンの個人戦で争われる第64回関西学生選手権は5月26日〜6月16日に行われ、女子ダブルスB

準決勝は粘り強くシャトルを打ち込んだが、15・21、12・21と力及ばず。決勝進出は実現しなかったものの、3位入賞の好成績を収めた。また、男子シン

大会成績

Table with 2 columns: 関西学生春季リーグ戦 (男子4部Bリーグ) and 大阪総合選手権. Lists teams and scores.

Table with 2 columns: 関西学生選手権 (男子) and (女子). Lists teams and scores.



女子ダブルスA出場の日野(左)・安次富ペア



男子ダブルスA出場の岡村(右)・福原ペア



吉村学長から激励を受ける強化クラブ生たち

Table with 2 columns: 強化4クラブ 結果発表 and 強化4クラブ 結果発表. Lists club names and results.

強化4クラブ 結果発表

女子駅伝部

悔しさと収穫

関西インカレ 3名出場



久須
「目標の順位とタイムを達成できず悔しい。次は日本インカレの標準を切るという目標を達成できるように練習に励みます」

今井
「これからやるべきことが見えたレースでした。1年生で関西インカレを経験できたことを生かして、上を目指していきます」

古田
「自己ベストを出そうと強い気持ちで挑んだが、1.6秒ほど及ばず、とても悔しい。西日本インカレではベストを出したい」

岡が優勝

塚シテイ マラソン 10km

ルーキー宮山は3位

塚シテイマラソンは4月29日、大仙公園・仁徳天皇陵周回コースで行われ、女子一般10kmの部で、岡奈津美（食物3年）が36分06秒で優勝を飾り、宮山碧唯（食物1年）が37分36秒で3位に入賞しました。岡は冬の練習が消化できておらず、少し出遅れていましたが、上り調子になってきました。宮山は入学後1カ月ながら、ロード走に対応し、想像以上の走りを見せてくれました。また、池田亜由佳（食クリエイト2年）が5位、南野結芽（食物4年）が8位に入賞しました。



今後に期待膨らむレース

5月に行われた関西学生対校選手権（関西インカレ）に3名が出場した。3名とも昨シーズンは故障で苦しんだ選手で、それを乗り越えて出場できる段階まで復調してきた。1500mには古田美月（食物2年）と今井花笑（食物1年）が出場。それぞれ予選で4分50秒88、4分51秒43をマーク。ともに決勝には進めなかったが、古田はシーズンベスト、今井は入学後初レースで力走した。今井は練習不足で苦しいレースが予想されたが、中盤以降も粘り強く走り、予定タイムをクリアした。練習は質量とも少しずつできているため、今後に期待できるレース内容だった。古田も練習量は少なかったが、学食で学ぶ栄養学を活用して、体づくりに取り組み、レースに向けていい準備ができていた。練習量も増やしているため、今後が楽しみだ。3000m障害決勝には久須優奈（食物2年）が出場。自己ベストを目標に挑戦したが、11分47秒91のシーズンベストにとどまり、13位だった。1000m通過前から集団から離れてしまい、積極的な挑戦が見られなかったのは残念。西日本インカレでは前を向いて挑戦し、自己記録を更新したい。

栄養に強いアスリートを目指して

自炊メニューを公開！

女子駅伝部は、全部員が栄養バランスの取れた自炊ができることを目標としています。管理栄養士を目指している駅伝部員が栄養指導を行い、食材選びや適切な調理法、何より、おいしく食べることを通して、女性アスリートとしての食意識を高めています。



池田亜由佳（2年）
今井花笑（1年）
Point
タンパク質を毎日取り、高タンパク質&低脂質で、貧血予防に鉄分、ビタミン、ミネラルも偏りなく摂取する。

主食：十穀米
主菜：豚肉の八宝菜風炒め
副菜：卵とそら豆のサラダ、ほうれん草のおひたし、高野豆腐とニラの卵とじ、ひじきの白和え
汁物：わかめの味噌汁



岡奈津美（3年）
Point
旬の食材を使い、主菜は魚、肉を日替わりで食べるようにしている。野菜も偏らないようにいつも違う野菜を食べている。

主食：十六穀米、梅干し
主菜：鯖のレモン蒸し
副菜：かぼちゃサラダ、レタス、トマト
副菜：アスパラの肉巻き
汁物：味噌汁（小松菜、しめじ、人参）
乳製品：ヨーグルト、クコの実
果物：ゴールデンキウイ



南野結芽（4年）
Point
栄養価の高い旬の食材や、貧血対策として鉄分が豊富な食材を使った献立。彩りも意識し、楽しみながら食事ができるように工夫している。

主食、主菜：シーフードドリア（あさり、アスパラ入り）
副菜：サラダ、かぼちゃスープ
乳製品・果物：いちご、ヨーグルト



南野結芽
（食物栄養学科4年）
大阪学芸高校出身
自己記録：5000m
17分23秒03

「管理栄養士の国家試験合格と全日本大学女子駅伝出場を果たす。個人のトラック種目では自己ベスト更新を目指す！」



古田美月
（食物栄養学科2年）
関西大倉高校出身
自己記録：1500m
4分49秒28

「5000mで1分ほどベストを更新して、チームに貢献する。1500mでも10秒以上、今の記録を上回る走りをする」



岡奈津美
（食物栄養学科3年）
和歌山北高校出身
自己記録：5000m
16分42秒34

「全日本大学女子駅伝に出場し、個人ではどの種目も全日本インカレの標準タイムを切ることが目標。チームを引っ張るような走りをする」



久須優奈
（食物栄養学科2年）
摂津高校出身
自己記録：1500m
4分43秒33

「全日本インカレと全日本大学女子駅伝への出場が目標。また、管理栄養士の国家試験に合格する為に日々勉強を頑張ります！」



池田亜由佳
（人間生活学科食クリエイトコース2年）
和歌山北高校出身
自己記録：5000m
17分18秒75

「勉強では1年生時より成績を上げ、部活動では全日本大学女子駅伝出場が目標。強気な気持ちでチャレンジします」



小川愛夏
（食物栄養学科1年）
広島県立御調高校出身
自己記録：1500m
5分05秒

「1500mと3000mSCで全日本インカレの標準記録が切れるように、日々の練習を大切に頑張ります」



宮山碧唯
（食物栄養学科1年）
新潟産業大学附属高校出身
自己記録：3000m
10分11秒20

「1500mでスピードの底上げをし、5000mのベスト更新につなげたい。全日本大学女子駅伝出場に走り貢献できるように頑張ります」



今井花笑
（食物栄養学科1年）
大阪市立咲くやこの花高校出身
自己記録：3000m
9分54秒43

「毎日の学びを吸収し、人として大きくなることを目指します。部活では努力を怠らず、自信のある走りができるようになります」



小川純奈
（食物栄養学科1年）
広島県立世羅高校出身
自己記録：3000m
10分11秒49

「自己新を出して駅伝メンバーに入れるように、日々の練習を頑張ります」



宮山碧唯（1年）
Point
毎食、タンパク質、野菜を摂取し、低脂質を心がけている。栄養バランスと彩りも意識している。昼食の弁当も全部手作りのものを使う。

主食：二十一穀米
主菜：キャベツの肉巻き
副菜：ニラとにんじんのさっと煮、サニーレタス、プチトマト
汁物：オクラとトマトのかき卵スープ
果物：キウイフルーツ、オレンジ



小川愛夏（1年）
小川純奈（1年）
Point
疲労回復効果・貧血予防効果のある食材を食べるようにしている。また、カロリーや彩りにも気をつけている。

主食：十六穀米
主菜：肉じゃが
副菜：卵焼き、ほうれん草の胡麻和え
汁物：みそ汁（わかめ、豆腐、しめじ）
果物：いちご



久須優奈（2年）
Point
カロリーが高くなりすぎないようにしながら、必要な栄養素の不足に気をつけて献立を考えている。

主食：十六穀米
主菜：れんこんハンバーグ
副菜：ポテトサラダ
汁物：かぼちゃスープ
果物：キウイ



古田美月（2年）
Point
疲労回復と貧血防止、また、体重が増え過ぎないようにするため、高タンパク&低脂質を意識し、鉄分は毎日10.5mg以上摂る。

主食：二十一穀米
主菜：ぶり大根
副菜：ニラユッケ、梅人参
汁物：ミルク味噌汁（かぼちゃ、玉ねぎ、スナックプえんどう）
乳製品：ヨーグルト
果物：キウイ、いちご、ぶどう

近畿学生野球Ⅲ部 3位



2次リーグは3戦全勝

価値ある戦い

硬式野球部

	勝率	順位
2017 秋 Ⅲ 3勝4敗1分	.429	4位
2018 春 Ⅲ 4勝4敗	.500	5位
2018 秋 Ⅲ 4勝5敗	.444	4位
2019 春 Ⅲ 6勝3敗	.677	3位

近畿学生野球連盟の2019年春季リーグ戦Ⅲ部に参戦した硬式野球部は、1次リーグは苦戦もあつたが、2次リーグでは3戦3勝をあげ、Ⅲ部3位の結果を残した。前々季の5位、前季の4位から着々と階段を上がっている。

意地の3連勝

Ⅲ部リーグの優勝とⅡ部リーグへの昇格を目標に掲げて臨んだリーグ戦は、6勝3敗と勝ち越すことができた。

新年度早々の4月2日の初戦から2試合続けてコールド負けを喫する苦しい幕開けだった。3戦目は大勝したが、4戦目はⅢ部2季連続優勝の大阪大に完封負け。しかし、気を取り直して、5戦目、6戦目を快勝し、チームは盛り上がった。迎えた2次リーグでは意地を感じさせる戦いを展開。いずれも1次リーグで完敗した大阪大、神戸医療福祉大、奈良教育大に3連勝し、底力を発揮した。

Hot-NEWS 4大学交流戦優勝



1、2年生チームで争う第2回交流戦(チャレンジカップ)で、羽衣国際大は阪南大に11・8、大阪大谷大に2・0、太成学院大に8・2で3連勝して優勝。秋季リーグ戦へ好材料を得た。

大会成績

◆近畿学生2019年春季リーグ(Ⅲ部)

【1次リーグ】

羽衣国際大○0-7 神戸医療福祉大
●1-8 奈良教育大
○19-3 大阪歯科大
●0-6 大阪大
○10-0 大阪薬科大
○3-1 奈良大

▷1次リーグ 4位

【2次上位リーグ】

羽衣国際大○5-3 大阪大
○1-0 神戸医療福祉大
○8-3 奈良教育大

▷Ⅲ部 3位

投げて、打って 個人部門上位

【評】リーグ戦開幕までの防御率は4点台だったが、リーグ戦に入ると抜群の安定感を発揮し、5試合に登板して、防御率は0.99。リーグ3勝を挙げてチームを勝利に導いた。



投手部門「リーグ第3位」
防御率 0.99
渡辺 亮(4年)
(秀岳館高校出身)

【評】1年生ながら、入学早々のリーグ戦で打率4割をマークした。勝負強く、シユアな打撃が光る巧打者である。



打撃部門「リーグ第4位」
打率 .400
嶋本 翼(1年)
(高崎健康福祉大学高崎高校出身)

【評】8試合で7打点を叩き出し、チームの勝利に大きく貢献した。リーグ戦で大学初本塁打を放つなど、目覚ましい成長を遂げている。



打撃部門「リーグ第6位」
打率 .391
米地 大河(2年)
(初芝橋本高校出身)

2次リーグは3試合で失策がわずかにひとつ。4年生の大事な最終戦も無失策試合で勝利を飾り、コソコソと地道につくりあげてきた堅い守りが、ピンチを何度も救った。

Ⅲ部リーグに降格してから4シーズンを戦い終えた。チームはゆっくりとだが、着実に力をつけている。秋季リーグでは、今春を上回る成績を収め、8度目のⅢ部優勝と5度目の2部昇格に向けて、気持ち強く持って挑戦したい。

苦戦乗り越え、チームが一つに

副将 山地 悠陽(4年)
(並木学院高校出身)

失策減が勝利呼ぶ

「リーグ戦の前半戦で負けが続いてしまい、苦しい戦いとなりましたが、最終的には得失点差により3位となりました。4チームすべてに優勝の可能性があった2次リーグでの3連勝は自信につながりましたが、良い形で終わられたと思っています」

優勝の可能性に自信

副将 安東 凜平(4年)
(創造学園高校出身)

戦い終えて

主将 山東 巧(4年)
(和歌山工業高校出身)

「リーグ戦の前半は投打がみ合わない試合が続きましたが、苦しい戦いを通じてチームがひとつになったように思います。普段の練習への向き合い方や基本練習の大切さを改めて感じました。大学をはじめ、いつも応援してくださる方々の支えがあつてこそ、苦しいリーグ戦を乗り越えることができました。この経験を秋のリーグ戦につなげます」



総監督

竹之内 雅史

監督

伊丹 康治(本学職員)

部長

合澤 浩之(現代社会学部教授 早稲田大学出身)

チ・二軍監督を務める。

硬式野球部の指導方針

野球を通じて人間形成を図ります。学生の本分は勉強、学生野球の本分は練習です。公式戦も大切ですが、それよりも大切なのは日々の練習です。

目指すは、

- 礼儀正しい大学野球部
- 文武両道を目指す大学野球部
- 高校より感動できる大学野球部
- 皆から愛される大学野球部

を創ること

日本体育大学では、捕手として明治神宮野球大会、大学野球選手権大会に出場(ともにベスト4)。和歌山・初芝橋本高校のコーチとして、夏の甲子園大会出場。監督も務める。2016年秋に大学野球部の監督に就任。入試センターにて学生募集にあたる。

